

第 30 期 報 告 書

〔 自 平成 30 年 4 月 1 日
至 平成 31 年 3 月 31 日 〕

事 業 報 告

計 算 書 類

貸 借 対 照 表

損 益 計 算 書

株 主 資 本 等 変 動 計 算 書

個 別 注 記 表

監 査 報 告 書

株式会社 NHKエンタープライズ

目 次

第30期事業報告

1. 会社の現況に関する事項	2
(1) 事業の経過および成果	2
(2) 事業の分野別の概況	4
(参考) 平成30年度　コンクール等受賞一覧	22
(3) 対処すべき課題	25
(4) 設備投資等の状況	26
(5) 資金調達の状況	26
(6) 事業譲渡・吸収分割または新設分割の状況	26
(7) 事業譲受の状況	26
(8) 吸収合併・分割による他の法人等の事業に関する 権利義務の承継の状況	27
(9) 他の会社の株式その他の持分または新株予約権等 の取得の状況	27
(10) 財産および損益の状況の推移	27
(11) 主要な事業内容	27
(12) 主要な事業所等	27
(13) 従業員の状況	28
(14) 重要な親会社および子会社の状況	28
(15) 主要な借入先と借入額	28
2. 会社の株式に関する事項	29
3. 会社役員に関する事項	30
4. 会計監査人の状況	32
5. 業務の適正を確保するための体制	33

第 3 0 期計算書類

貸借対照表	4 0
損益計算書	4 1
株主資本等変動計算書	4 2
個別注記表	4 3
監査報告書	5 3

第30期 事業報告

〔 自 平成30年4月 1日 〕
〔 至 平成31年3月31日 〕

株式会社 NHKエンタープライズ

1. 会社の現況に関する事項

(1) 事業の経過および成果

2018年度～2020年度中期経営計画の初年度であった2018年度は「SHIBUYAから“世界”へ」をキャッチコピーに、3つのビジョンと8つの具体的な重点目標を設け、番組制作、DVD、キャラクター等展開など多くの分野で新たな取り組みを積み重ねた結果、当期の売上高は史上最高の591億9千1百万円（前期比7.1%増）を達成し、営業利益は20億8千2百万円（前期比213.7%増）、経常利益は23億4千2百万円（前期比97.4%増）、当期純利益は16億4百万円（前期比94.1%増）と前年度を大幅に上回り、増収増益となりました。なお、NHKに対する副次収入は16億5千4百万円と目標の14億3千8百万円を2億1千6百万円上回ることが出来ました。

NHK関連の業務では、昨年12月に本放送が開始されたスーパーハイビジョン（SHV）での制作を加速しました。定時番組の「ダーウィンが来た！生きもの新伝説」「世界ふれあい街歩き」「COOL JAPAN」などでは、2K4K一体化制作を拡大し、特集番組でも積極的に4K・8K撮影に挑んだ結果、NHKが制作した全SHVコンテンツのうち40パーセントを超えるSHV番組を当社が生み出しました。また、紅白歌合戦やサッカーワールドカップでは各地で8Kパブリックビューイングを実施し、スーパーハイビジョンの社会的認知を高める事業にも力を注ぎました。

新規番組の開発も積極的に推進しました。総合テレビ「有吉のお金発見 突撃！カネオくん」やBSプレミアム「ガイロク（街録）」「渡辺直美のナオミーツ」などを開発番組として放送したところ、視聴者からも高い評価をいただき、U59世代や女性の視聴者層を開拓する番組として、2019年4月からの定時化が実現しました。

放送文化の向上に寄与する大型ドキュメンタリーやドラマ番組も世に送り出しました。「BS1スペシャル・在宅死“死に際の医療”200日の記録」は視聴者の高い反響に応じて、NHKスペシャルとしても放送し、さらなる反響を受け映画版として制作が進んでいます。また、いのち誕生の現場を舞台に現代社会の問題を見つめたドラマ10「透明なゆりかご」は、昨年の特集ドラマ「眩（くらら）～北斎の娘～」に続き、第73回文化庁芸術祭においてテレビ・ドラマ部門大賞を受賞し、

当社のドラマ制作力について各方面から高い評価を受けることができました。そして、デジタルコンテンツの制作では、若者の自殺に向き合った番組「#8月31日の夜に。」の企画・制作に関わり、国際的に権威のあるイタリア賞のWeb部門賞と大統領特別賞を受賞し、国際エミー賞にもノミネートされました。

さらに特筆すべきは、2018年度からスタートした定時番組「チョコちゃんに叱られる！」です。CG技術を駆使した5歳児のチョコちゃんが繰り広げる新感覚クイズ番組は、定時番組として金曜日夜間と土曜日午前に放送が開始するとともに視聴者から大きな反響を集め、最大18%を超える世帯視聴率を達成し、U59でも異例の6%越えを果たすなど、NHKのリーチ回復にも大きな役割を果たしました。また、番組の好調を受けて、12月のチョコちゃんグッズの発売当日には東京駅のショップでは300人以上の行列ができるなど、関連商品や関連本の展開においても各方面で人気を集めています。

展開事業においては他にも新たな動きが生まれています。NHKの幼児番組コンテンツを、大手配信事業者のAmazonプライムに対し、同サービス内の「こどもチャンネル」として配信し、1年で4万人を超える登録者を獲得するなど大きな成果をあげています。

イベント関連でも注目を集める事業が続きました。渋谷開催2年目となる第17回「東京JAZZ」では、NHKホールでの公演以外にケヤキ並木のステージやライブハウスWWWなど5エリアでイベントを展開しました。協賛・協力企業に加え、渋谷区、地元商店街の協力も得ることで、トータルで8万人の観客が訪れるなど、渋谷から世界に発信する音楽イベントとして年々成長を続けています。また、10月から11月にかけて開催された「第33回国民文化祭・おおいた2018」では開会式と閉会式を担当しました。

こうした各分野での実績をふまえつつ、中期経営計画の2年目となる2019年度は、制作部門と展開部門の一層の連携をはかりながら、番組の制作はもちろんのこと、映像ソフトの販売、イベント、デジタルコンテンツの制作、キャラクター展開、そして権利ビジネスなど、多方面で新たな取り組みや創意工夫を重ね、コンテンツ創造企業としての歩みを着実に進めてまいります。

(2) 事業の分野別の概況

①<放送番組制作>

ドラマやドキュメンタリー、エンターテインメント、アニメーション、語版制作など、合わせて約13,381本の番組を制作しました。

番組コンクール関係では、第73回文化庁芸術祭、テレビ・ドラマ部門でドラマ10「透明なゆりかご」が大賞を受賞し、昨年の「眩（くらら）～北斎の娘～」に続き2年連続となりました。この他にも数多くのコンクールで受賞し、制作力の高さを示しました。

制作企画

制作本部全体のヘッドクォーターとして、事業提案を取りまとめ、番組制作に関する委託取引等を統括するとともに、新人若手社員の人材育成を進めました。また、番組制作に欠かせない、映像・音声等の編集リソースの効率的なマネジメントにも取り組みました。

番組開発

幅広い視聴者層に向けた多様なジャンルの番組を企画・制作する一方、新しい技術と放送番組との融合を図る取り組みにも積極的にチャレンジしました。

総合テレビでは、毎月全国各地から生放送する「今夜も生でさだまさし」、ペット好きの間で話題沸騰の「もふもふモフモフ」のほか、土曜深夜の生放送「おやすみ日本」、話題のバーチャルYouTuberを取り上げた「バーチャルのど自慢」などを制作しました。開発番組「有吉のお金発見 突撃！カネオくん」は、2019年度の定時番組に採用されました。Eテレでは、「新世代が解く！ニッポンのジレンマ」「シリーズ 人間ってナンだ？超AI入門」のほか、全国デパート展も始まった国内共同制作番組「猫のしっぽカエルの手」、イギリスBBCからフォーマット購入し、制作した「知ってる？！4歳児のヒミツ」などに取り組みました。

BS1では「地球タクシー」や「グレートレース」などのおなじみの番組のほか、BS1スペシャルでは「勝敗を越えた夏～ドキュメント 日本高校ダンス部選手権～」や、ギャラクシー2月月間賞を受賞した「ボルトとダシャ～マンホールチルドレン20年の軌跡～」などを制作しました。BSプレミアムでは、定時番組「美と若さの新常識～カラダのヒミツ～」、特集番組として、VRと連動した「世界”超驚

き！”テーマパークの旅」、最新のドローン技術を駆使したドラマ「カラスになったおれは地上の世界を見おろした」などの挑戦的な番組を制作しました。

このほか、北海道の観光復興支援を行うためのHPやツイッター運営など、ネットを使った独自事業にも着手しています。

情報文化番組

ドキュメンタリーからバラエティ、ドラマまで幅広いジャンルで年間2,000本以上の番組を制作しました。総合テレビでは「チョコちゃんに叱られる!」「ファミリーヒストリー」「プロフェッショナル仕事の流儀」「さし旅」ほか、「ごごナマ」「ニュースシブ5時」といった生放送番組を制作。Eテレでは「世界の哲学者に人生相談」のほか、特集で「オリガミの魔女と博士の四角い時間」「思考実験バラエティー！もしもの世界」などを制作しました。

BS1では、「球辞苑」「COOL JAPAN」「超人たちのパラリンピック」、BSプレミアムでは、「世界ふれあい街歩き」「にっぽん縦断 ころろ旅」「英雄たちの選択」「岩合光昭の世界ネコ歩き」「イッピン」「晴れ、ときどきファーム!」「まんぷく農家メシ」といった定時番組のほか、特番では「グレートトラバース3 日本三百名山全山人力踏破」「怪魚ハンターが行く!」「映像の世紀プレミアム」など、多彩なジャンルの番組を制作しました。

国際番組では、「TRAIL TO TSUKIJI」や「DESIGN TALKS PLUS」、4K8K番組にも力を入れ「ツタンカーメンの秘宝」「ニッポン印象派」「若冲VS北斎～夢の天才対決」などを制作しました。

自然科学番組

定時番組では、総合テレビ「ダーウィンが来た!生きもの新伝説」「さわやか自然百景」、BSプレミアム「ワイルドライフ」「ニッポンの里山 ふるさとの絶景に出会う旅」の4番組を制作しました。

特集番組では、NHKスペシャル「ブループラネット第1・2・3集」「秘島探検 東京ロストワールド 第2集 孀婦岩」を制作し、大きな反響を呼びました。この他にも、BSプレミアム特集「滝沢秀明の火山探検紀行」「これが恐竜王国ニッポンだ!」「ジオ・ジャパン～絶景列島に行く～第3・4集」、BS1スペシャル「熱戦!イヌ

と人が挑む新スポーツ～アジリティー世界大会2018」、総合特集「完全版ブループラネット第1～6集」「オーレリアンの庭 今森光彦 里山の四季を楽しむ」など様々な自然分野の特集番組を制作しました。

12月から本放送が始まった4K8K番組制作にも積極的に取り組んでいます。4つの定時番組と主な特集番組で4K一体化制作を進め、合計118本を制作しました。4K単独コンテンツとしては「オランウータン・リハビリ日記」「恐竜超図鑑」を制作し、「世界初！4K南極中継」に参加しました。8Kについては、「深海の大絶景」「南米イグアスの滝 アマツバメ舞う水と緑の楽園」「奄美の海 奇跡のサンゴ礁」「写真家たちの挑戦 新絶景タイムスケイプ」「8Kで完全再現！これが恐竜王国ニッポンだ！」「8K体感 キュー王立植物園 イギリス・ロンドン」などを制作したほか、自主事業としては、「劇場版ダーウィンが来た！」の映画制作などを行いました。

ドラマ番組

総合テレビにおいては、ドラマ10では「透明なゆりかご」「昭和元禄落語心中」の2シリーズを制作しました。見習い看護師の目線で産科のシビアな現実を独特の温かい映像で描いた「透明なゆりかご」は30代女性から圧倒的な支持を受けると共に、クオリティを高く評価され芸術祭大賞を受賞しました。土曜ドラマは「バカボンのパパよりバカなパパ」「みかづき」の2シリーズを制作するとともに、単発スペシャルとしてノーベル賞作家、カズオ・イシグロの原作「浮世の画家」を今年度のNHKドラマ唯一の8Kで制作し、色彩鮮やかな高精細なドラマを作り上げました。土曜時代ドラマは「そろばん侍～風の市兵衛～」 「ぬけまいる」の2シリーズを制作しました。正月時代劇では初めての2夜連続となる「家康、江戸を建てる」を制作し、大型時代劇として好評を博しました。

BSプレミアムにおいて、レギュラーのBS時代劇は「鳴門秘帖」「雲霧仁左衛門4」「立花登青春手控え3」「小吉の女房」の4シリーズを制作しました。安定した人気を誇るシリーズ物だけでなく、オリジナルの新作に挑戦した「小吉の女房」は高い評価を得、「時代劇のNEP」の存在感を改めて示しました。さらに人気シリーズのスペシャルとして「大岡越前スペシャル」を正月に放送し、コアな時代劇ファンのニーズにも、こたえることができました。また初めてレギュラー枠であるプレ

ミアムドラマの制作に挑戦した「盤上のアルファ」は将棋ファンの中核である60代男性から高い支持を受けました。

独自事業としては、吉本興業が沖縄国際映画祭のプレミアコンテンツとして各テレビ局とコラボする映画制作に初めて参加し、ワープステーション江戸を舞台にしたフェイクドキュメンタリーのスタイルを取った映画「エキストロ」を制作し、コンテンツ制作集団としての力を大いに発揮することができました。

エンターテインメント番組

定時番組では、総合テレビで「みんなのうた」「〇〇〇〇の演芸図鑑」「SONGS」を制作し、Eテレでは「日本の話芸」「ムジカ・ピッコリーノ」「Eダンスアカデミー」「わらたまドッカ〜ン」「沼にハマってきいてみた」「古典芸能への招待」を制作しました。BSプレミアムでは「新・BS日本のうた」「ザ少年倶楽部」「クラシック倶楽部」「AKB48 SHOW」を制作しました。音声波では、クラシックからジャズ、ポピュラー、バラエティーに至る多様なジャンルで、ラジオファンのニーズに応える番組を継続して制作したほか、「名演奏ライブラリー」「クラシックの迷宮」などの番組を新規受託しました。

特集番組では、「アニソン！プレミアム！」「SONGS OF TOKYO」「おげんさんといっしょ」「The Covers」などの音楽番組、「芸人先生」「笑アニさまがやってくる」「急上昇↑ZOOチューバー」「鉄オタ選手権」などのバラエティー番組のほか、多彩な大型特集番組を多数制作し好評を得ました。

SHVコンテンツの取り組みも積極的に行い「乃木坂46神宮球場8Kライブ」「東京JAZZ」「プレミアムシアター」「4Kダウンロード・フェスティバル」など4K8Kによるエンターテインメントコンテンツ制作の実績を着実に積み重ねました。

また自主事業では、2020年に向けて日本の文化を発信していく企画として、「J-CULTURE FEST」「古典芸能を未来へ 第一回 尾上流」「ジャパンハウスLAオープニングセレモニー」「平家物語の世界」などのイベントを制作しました。また公共放送と10代の若者をつなげる企画として「RADWIMPS 18祭」のイベント演出や、NEWS増田貴久主演「Only You ~ぼくらのROMEO&JULIET」や大竹しのぶ主演「SHINOBU avec PIAF」

の舞台演出を手がけるなど、当社の未来を開拓する事業を成功させました。

国際番組

国際番組は、NHK Cosmome dia America (NCMA)、NHK Cosmome dia Europe (NCME)などの海外現地法人や、海外のプロダクション、放送局と協力して、国際的な番組を中心に制作しています。また、海外でのリサーチ、クルー派遣などの番組支援業務も、海外現地法人を通じて行っています。

定時・準定時番組では、BS1では、オリンピックに向け「エア・レース」「スポーツ・クライミング」「サーフィン」など、世界を舞台にしたスポーツ番組を制作し、BSプレミアムでは、「内藤大助の大冒険」「桃源紀行」など、主に紀行・冒険番組を制作しました。NHK Worldでは、「Direct Talk」「Global Agenda」「Inside Lens」「Anime Supernova」などを、世界に発信しました。特集番組では、「ダイヤモンド博士の“ヒトの秘密”・質問スペシャル」(Eテレ)、「ネット歌姫」、「イギリス 白馬の王子さまに会いたい！」(BSプレミアム)のほか、「婚活38度線」「ザ・カミングアウト 中国・LGBTの叫び」「世界はTOKYOをめざす」(BS1)などのドキュメンタリーを制作しました。また、国際共同制作による「シリーズ・空旅中国」「江戸あばんぎやると」、また、「ヨーロッパ・魅惑の島紀行」「特集ドラマ・バーニング」、「シリーズ聖なる建築」(BS4K)、「マジックアワー ゴッホが描いた空の光」「シリーズ・空からクルージング」(BS8K)など、多彩なSHV番組を制作しました。

また、国際共同制作を支援するフォーラム「Tokyo DOCS」への参加や、サンダンス・NHK国際映像作家賞の事務局を担いつつ、参加作品の「37 Seconds」の制作支援など、幅広い活動を行いました。

アニメーション番組

総合テレビでは、「ピアノの森」「つくもがみ貸します」を制作しました。話題の漫画、小説のアニメ化で女性を中心に視聴され好評を得ました。

Eテレの土曜夕方は、前期に野球アニメの代名詞の続編「メジャーセカンド」を制作しました。後期にはフランス人漫画家が描く少年冒険ファンタジーをアニメ化

した「ラディアン」を制作して、海外からも注目される作品となりました。

Eテレの平日夕方は、長寿アニメの「忍たま乱太郎」「おじゃる丸」に加え「わしも」を制作しました。Eテレの中で高い視聴率を維持しています。

また大人気児童書をタイムリーにアニメ化した「おしりたんてい」は夏の特番で高い視聴率を獲得し、後期に定時化され注目作品となりました。

日本語版番組

海外ドラマでは、BSプレミアムの韓国ドラマ「仮面の王 イ・ソン」、「不滅の恋人」やEテレの「スクール・オブ・ロック」、「ゲーム・シェイカーズ」、アニメ「おさるのジョージ」などの日本語吹替え版を制作しました。

海外ドキュメンタリーでは、「BS世界のドキュメンタリー」、「地球ドラマチック」などの日本語版を制作するほか、BSプレミアムシネマで放送される映画の字幕制作や「東京国際映画祭」、「米アカデミー賞授賞式」の関連番組など、様々なジャンルにおいて質の高い日本語版を制作しました。

BS4K・8Kでは、4K版「刑事コロンボ」の日本語版、8K映画「2001年 宇宙の旅」、「マイ・フェア・レディ」の字幕版を制作しました。

また、「世界ふれあい街歩き」、「COOL JAPAN」などの英語版を作成し、NHK番組の海外発信に貢献しました。

②＜映像ソフト販売＞

国内のパッケージ市場は厳しい状況が続いていますが、平成30年度はヒット作品にも恵まれ、一定の成果を挙げることができました。

中でも「アシガール」は発売以来、通年で好調を維持しヒット商品となりました。(株)NHKエデュケショナルの協力により「おかあさんといっしょ 最新ソングブック おまめ戦隊ビビンビ〜ン」「いないいないばあっ！ポポポポ ポーズ」が好調でした。

大河ドラマでは「西郷どん」、連続テレビ小説では「半分、青い。」「まんぷく」を発売しました。また、「京都人の密かな愉しみ BLUE 修業中」「風雲児たち 蘭学革命篇」「女子的生活」「弟の夫」「透明なゆりかご」「昭和元禄落語心中」などの新作、韓国ドラマは「仮面の王 イ・ソン」を発売しました。「イニョプの道」「三銃士」をコンパクト・セレクション(廉価版)のラインナップに加え、販売数をのばしました。

アーカイブス・ドラマは、「羽田浦地図」「海の群星」「帽子」「百年の男」などを初めて商品化しました。

ドキュメンタリー関連では、NHKスペシャル「人体 神秘の巨大ネットワーク」「人類誕生」のほか、「北アルプス ドローン大縦走」「銀嶺の空白地帯に挑む～カラコルム・シスパーレ」「デナリ 大滑降」「永平寺 禅の世界」などをリリースしています。

アーティスト系はNHKのアーカイブ映像から「三山ひろし 飛翔」「島倉千代子メモリアルコレクション」を発売し好評を得ています。

新規発行ディスク数は、トータルで922ディスク（昨年921ディスク）となりました。

③<イベント事業・ソフト制作>

イベント

「NHK学生ロボコン」は6月10日大田区総合体育館で開催されました。今回のテーマは、ベトナム北部に伝わる伝統行事「ネムコン」からコンセプトを得た「ネムコン“シャトルコック・スローイング”」で、各ロボットが、虹を表すカラフルな布で装飾されたシャトルコックのひもを持ち、高さ約3mのリングを通過させ、その向こうの台に乗せる競技です。

予選を勝ち抜いた24チームの中から東京大学が優勝しました。続いて、8月26日ベトナム・ニンビンで開催された「ABUロボコン」は、17の国と地域から参加した18チームで熱戦が繰り広げられ、日本代表の東京大学が「ABUロボコン大賞」を受賞し、ベトナム代表のラクホン大学が優勝しました。

31回目の「高専ロボコン」は「Bottle-Flip Cafe」をテーマに、全国8会場で地区大会が実施され、優勝校、推薦校による全国大会は、11月25日に東京の両国国技館で開催し、ロボコン大賞は熊本高等専門学校八代キャンパス、優勝は一関工業高等専門学校となりました。その模様は同日BS1で生放送され、12月24日には総合テレビで放送されました。

第17回「東京JAZZ」は、NHKホールをメイン会場に、ハービー・ハンコック、マンハッタン・トランスファーといった豪華アーティストによる夢の共演を実現しました。代々木公園ケヤキ並木では、世界各国から来日したアーティストが自由なスタイルで演奏しました。またライブハウスWWWでも、新たなスタイルのJAZZをお楽しみいただきました。渋谷センター街での学生を中心としたJAZZ

Zパレードも、渋谷の街に広がるJAZZフェスの象徴として盛り上がりを見せました。

NHKホール公演はBSプレミアム、FMに加えBS4Kでも放送されました。

東京2020公認プログラムとなった「全日本なわとびかっとなび王選手権」は、12月9日東京で決勝大会を実施し、全国88チームの中から予選を勝ち抜いた4校が「8の字跳びタイムアタック」を競いました。優勝は愛知県岡崎市立連尺小学校、準優勝は北海道札幌市立平岡南小学校となり、決勝大会の様子は総合テレビとBS4Kで放送されました。

人気の2.5次元ミュージカル「ミュージカル 忍たま乱太郎」第9弾は、東京・大阪での公演に加え、地方での「ファン感謝祭」や「学園祭コンサート」も実施し各地で好評を博しました。

10月6日から開催された「第33回国民文化祭・おおいた2018」では、開会式と閉会式の企画・運営を受託しました。皇太子殿下・妃殿下ご出席のもと、多くの県民が繰り広げるパフォーマンスに、会場のiichikoグランシアタが熱い感動の渦に包まれました。

日中平和友好条約締結40周年を記念し、ANAホールディングスより「岡崎嘉平太とその時代～日中友好の井戸を掘った人々～」展の企画・運営を受託しました。7月24日～8月20日まで東京・羽田空港、12月5日～27日まで北京・精華大学にて特別展を開催しました。

京都で実施されている「KYOTO STEAM」（世界文化交流祭）では、3月のプレイベントの企画・運営を受託しました。来年の本番に向けて、古典文学×伝統芸能×メディアアート「新猿楽記・Revision～序～」、「伝統芸能×新技術 能楽「大会（だいえ）」～天狗の恩がえし～」などを実施して、最新のデジタル技術と伝統的なパフォーマンスを組み合わせ、新たな芸術の可能性を提示しました。

Eテレで放送した「平成ネット史（仮）」の展示イベントを1月11日～14日、渋谷ヒカリエにてNHKからの受託業務として実施し、インタラクティブでパーソナライズされた展示など、2020年の8K公開施設を念頭においた展示を開発しました。20代、30代を中心にSNS上で大きな話題となったことも手伝って、入場待ち最大90分という大盛況のうちに終了しました。

展示事業

「西郷どん 大河ドラマ館」（鹿児島県鹿児島市）を制作したほか、「いぶすき西郷どん館」（鹿児島県指宿市）、「幕末明治福井 150年博～大河ドラマに見る幕末明治の福井の先人たち～」（福井県福井市）の2か所で展示制作を行いました。鹿児島市の大河ドラマ館では入場数が55万人を突破しました。また新年からは「いだてん大河ドラマ館」（熊本県玉名市）の展示を制作しています。

「ワープステーション江戸」の運営では、大正～昭和時代の建築物を再現したオープンセットとスタジオが完成し、大河ドラマ「いだてん」の撮影で使用されています。その施設は1月から一般にも公開され、多くの入場者を集めています。

映像ソフト制作

台湾デルタファウンデーションより、全編8K撮影による長編ドキュメンタリー「水起・台湾」（邦題：水とめぐる四季～台湾そして北海道～）を受託しました。空撮、水中などの特殊撮影を含む延べ100日以上のロケを経て、壮大な映像記録が生まれました。この作品3月31日にNHK-BS8Kでも放送されました。

「道の駅きつれがわ」を運営する栃木県さくら市から、道の駅初の「常設型プロジェクションマッピング」として、映像作品2種と上映システムの設計を受託し、新たな集客手法として話題となりました。

この他、「気仙沼市 東日本大震災遺構・伝承館」、「釜石市 津波伝承施設 いのちをつなぐ未来館」、「JR東日本 事故の歴史展示館」など、多くの展示館や企業で上映される展示映像を制作しました。

④＜番組提供＞

放送事業者への番組提供

＜チャンネル銀河＞＜AXNミステリー＞＜ファミリー劇場＞＜時代劇専門チャンネル＞＜LaLa TV＞＜日本映画専門チャンネル＞ など35チャンネルに対し、大河ドラマや連続テレビ小説、また、韓国ドラマや欧米ミステリードラマなど、合計463タイトルを提供しました。ケーブル局には、30局へ大河ドラマ「義経」、連続テレビ小説「ごちそうさん」など36タイトルを提供しました。

また、情報誌「ケーブル新時代」を年10回発行し、ケーブル各局への情報発信

を行ったほか、全国7ヶ所で経営や番組制作などのセミナーを実施し、合計で約500名が受講しました。

VOD事業者への番組提供

<Netflix><ドコモ・アニメストア><Hulu><auビデオパス><ひかりTV>など、全27事業者にアニメ番組や幼児番組、また韓国ドラマなど海外番組含め168タイトルを提供しました。9月にはAmazonプライム会員向けに新サービス「NHKこどもパーク」を立ち上げて順調に会員数を伸ばし、3月には月額で約700万円を売り上げるまでに成長しました。

またロシアドラマ「黄金のオールド」は、NTTぷららが運営する<ひかりTV>に日本初展開として提供し、従来型のテレビ放送主導の展開とは異なるトライアルとして実施中です。

アーカイブス事業

SHV本放送が始まり4K8K素材も増えてくる中で、放送番組、映像・音声素材、レコードなどをNHKアーカイブスに登録・保存する業務を的確に進めるとともに、番組データ入力や資料添付など、コンテンツ価値を高めるためのメタデータ整備にも積極的に取り組みました。合わせて同時配信も視野に入れた権利情報整備も行いました。なお保存媒体はファイルへの移行がほぼ完了しました。

アーカイブスにまだ保存されていない過去番組を探し出して保存する番組発掘業務では、今年度はスポーツ中継番組を軸に取り組んだ結果、ラグビーやテニス・モントリオール五輪などの他、ドラマや音楽番組など1,230番組をアーカイブスに加えることができました。

一方で、「保存」するだけでなく「活用・公開」するための業務にも取り組み、アーカイブスに保存された過去の膨大な番組資産や映像素材を使って、定時番組の「あの日あのときあの番組」、「プレミアムカフェ」を制作しました。さらにBS4Kで定時放送された「4Kでよみがえる新日本紀行」は、約50年前のフィルムを高画質な映像でよみがえらせ、4K放送の可能性を広げるとともに、NHKアーカイブスの存在感を示しました。

また川口アーカイブスではこうした資産を使って公開収録や上映会などのイベ

ントを開催したり、全国のNHK各放送局にある「番組公開ライブラリー」施設での公開、大学等の研究者に利用していただく学術利用トライアルのプロジェクトなども行っています。

このようにNHKが掲げる「保存・活用・公開」という方針の元で、正確で的確かつ積極的で多角的な業務運営を行っています。

素材提供事業

民放各局からのスポーツ分岐映像の申し込みは、前年を上回る結果となりました。これは東京2020オリンピック・パラリンピックを控えスポーツに関する情報を取り上げる番組が増えていることが考えられます。

NHK関連事業局、知財センターアーカイブス部との連携のもと、今後の4K映像の外部提供に関する情報集約と共有を行いました。

米国Getty Images社のインターネットサイトを通じての映像クリップ提供事業は概ね前年並みの実績でした。

(福)NHK厚生文化事業団、(公財)放送番組センター、(福)聴力障害者情報文化センターの3公益団体への番組提供も例年通り行っており、番組の利活用に貢献しています。

⑤<デジタル・映像イノベーション事業>

放送・通信連携や高精細映像制作における高い技術や豊かな経験をいかして、Webサイト、データ放送、動画配信、4K8K映像制作、VR・360度コンテンツ制作などに注力したほか、新規事業にも積極的に取り組みました。

[通信グループ][放送グループ]は放送とWebの連携が一層強まる中で、夏から一体運用しており、グループの垣根を超えて業務を担当し効率的な運営をしました。

「NHKオンライントップページ」「NHK国際ポータル」「NHKドラマポータル」「NHKアニメポータル」などの基幹サイトをはじめとしたNHKホームページ制作を例年と同規模で実施しました。また放送連携では「天才てれびくんYOU」「沼にハマってきいてみた」「おやすみ日本」「おしりたんてい」連続テレビ小説「まんぷく」大河ドラマ「いだてん」などのデータ放送等の開発・運用を実施しま

した。特にハートネットTV枠の特番「#8月31日の夜に。」では、夏休みを終える時期に悩み苦しむ10代へむけてWebと放送がそれぞれの特性を活かした発信を行うという試みが「イタリア賞ウェブ・ノンフィクション最優秀賞」「国際エミー賞デジタル部門ノミネート」など高い評価を受けました。また、TOKYO2020へむけてWeb発信やイベント演出において新しいトライアルや開発が本格化しています。

Webでは「2020ポータルサイト」「東京五輪競技サイト」において最先端の技術を駆使した大規模改修を始めており、「NHK杯フィギュアレジェンドコンテンツ制作」「ABUロボコン」などイベントにおいてデジタルサイネージ等を活用した会場演出開発に取り組みました。

〔高精細グループ〕は、BS8Kでは、NHK8K中継車欧州派遣の関連番組として「体験！世界最大級の野外スペクタクル劇」8K・90分番組および4K・30分番組を制作しました。また、「大迫力！長岡の大花火」を総合テレビの生中継と共に8K・59分番組を制作し、BS4Kでは特別番組「8Kでよみがえる究極の映像体験！映画“2001年宇宙の旅”まもなく放送」などの4K番組を制作しました。展示映像では、「1964VR」「歩けるVR探検！ツタンカーメン王墓」などのVRを中心としたコンテンツを制作し、また企業向けなどに4Kや8Kの外部提供も行いました。8Kパブリックビューイングは8月の放送開始4か月前イベント、そして12月の放送開始記念イベントのほか、サッカーW杯ロシア大会、8KサカナクションLIVEなどの8Kパブリックビューイングを行うと同時にNHK地域放送局でもNHK8Kコンテンツの上映を行いSHV普及推進に貢献しました。NEPアンフィニシステムを活用した制作支援事業では数多くの4K・8K番組の制作支援や4K8Kの特殊機材を最大限に活用した特撮を行いNHKのSHVコンテンツ制作を支えました。

⑥<キャラクター事業>

著作権許諾事業では、人気番組「チョコちゃんに叱られる！」のキャラクター展開を開始して200を超える商品化を実現、全国各地のお店でグッズが好評を博し「日本キャラクター大賞・ニューフェイス賞」（一般社団法人キャラクターブランド・ライセンス協会主催）を受賞しました。また、大河ドラマ「西郷どん」や連続テレビ

小説「半分、青い。」では番組タイトルロゴを使用したいという要望が地元を中心に多数寄せられ、合わせて約60社150種の商品に提供しました。さらに海外では、こども幼児番組「いないいないばあっ！」やアニメ番組「ラディアン」「ピングー」等のライセンス事業をアジア地域等で積極的に展開しました。

商品販売事業では、さいたま、大阪、横浜で開催されたこども幼児番組関連イベントの会場においてキャラクター商品の直販を実施し、自社で開発したオリジナル商品を中心に大きな実績を上げました。

⑦<権利ビジネス>

海外の番組については、欧米ドラマ「クイーン・メアリー」4K版「刑事コロンボ」「ダウントン・アビー」、韓国歴史ドラマ「仮面の王 イ・ソン」「不滅の恋人」、ドキュメンタリー「素顔のボヘミアン・ラブソディ」「ナスカ 地上絵のミステリー」、ライフスタイル「レイチェルのおいしい旅レシピ」、エンターテインメント「クイーン リオの夜 “R o c k i n R i o 1 9 8 5”」をはじめとする数多くの番組を購入し、NHK等で放送され好評を博しました。また、昨年引き続き「オクニョ 運命の女」の後半部分、「仮面の王 イ・ソン」、「レイチェルのおいしい旅レシピ」などのビデオグラム権を購入し、DVDを発行しました。

海外への番組販売では、下期放送のアニメ「ラディアン」が世界規模で配信される等、アニメが売上を大きく伸ばしました。ドラマは、東アジアでは新作の連続テレビ小説が前期同様に堅調で、「わろてんか」「半分、青い。」が販売されました。また、土曜ドラマ「みかづき」等が台湾、韓国でNHKの放送直後に配信されました。ドキュメンタリーは定評のある自然番組、科学番組を中心に販売され、定番のシリーズ「ワイルドライフ」「ダーウィンが来た!」「コズミックフロント」のほか、大型国際共同企画「人体」「人類誕生」も高い評価を得ました。

⑧<NOD事業>

NHK オンデマンド受託事業

NHK オンデマンドの権利処理・権料支払いから原盤・メタデータ制作、配信までの一連の業務を円滑に実施すると共に、各種無料配信やフルHD配信、即日配信など多様な配信サービスに対応しました。

6月から8月にかけては日本代表が出場したFIFAワールドカップ・ロシア、アジア競技大会など、試合経過により放送予定も大きく変動する大型スポーツ大会の配信に柔軟に対応しました。

12月にはNOD10周年フェアに対応し、この10年間の視聴数データをもとに「あまちゃん」「篤姫」「真田丸」など人気10番組の無料配信を実施しました。またクリスマスイヴの「アシガールズスペシャル」、大晦日の「紅白歌合戦」もよく見られました。特に紅白歌合戦の「後半」については2週間の「見逃し」配信期間中、歴代最高の視聴数を獲得しました。

また知財センターの権利情報一元化の取り組みに基づき、昨年を引き続いてNOD特選ライブラリーの1,000番組の権利情報をアーカイブスに提供しました。

⑨<受託映像国際放送等>

海外現地法人

当社はNHKから、欧米での映像国際放送と番組制作支援業務を受託しています。これらは、NHKの関連団体であるNHK Cosmopedia America (NCMA)とNHK Cosmopedia Europe (NCME)に再委託して実施しています。

このうちNCMAには、エンジェルス・大谷選手の活躍などMLBの中継制作に加え、ジャズ・ライブの8K収録などを委託し、現地に拠点を持つ強みを生かしてNHKの番組制作を支えました。また北米地域対象の、NHK番組を中心に民放番組も入れて編成する24時間日本語有料チャンネル「TV JAPAN」を通じて、1日平均5時間、NHKからの「邦人向け国際放送」も委託しました。一部配信先には、大河ドラマ、連続テレビ小説などの「見逃しサービス」を提供しています。

ヨーロッパのNCMEにも、欧州・中東地域で、NHK番組の制作とコーディネート業務を委託し、30年度は英国キューガーデンの8K中継収録はじめ8K中継車の欧州遠征を支援したほか、BSP「ワイルドライフ」や国際放送のNHK World Japan向けなど多岐にわたるコンテンツ制作を手がけました。また欧州、北アフリカ、中東の約60カ国に向けてNHK番組を中心とした24時間の日本語有料放送を運営するJSTVチャンネルを通じて、「邦人向け国際放送」も委託しています。

さらにタイでも、当社が出資しているNippon Production Service（NPS）を通じて、NHK国際放送の取材・制作の支援や、現地へのNHK番組の販売など、幅広い分野で業務を推進しています。

⑩<業務支援>

著作権・権料支払業務

NHK知財センター著作権・契約部との連携のもと、各種事業展開に関わる権利処理についての情報集約、管理、相談への対応および映像コンテンツ権利処理機構（ARMA）、JASRACなどの権利者団体等との調整を行い、円滑な事業展開を支援しました。また、ビデオグラム、NOD/VOD、CS・ケーブル局への提供等番組二次展開に関わる権利者への権料支払業務、NHK制作受託番組の放送料支払いの審査業務、商標出願管理業務など、権利関係業務に幅広く対応しました。放送料支払いの審査に関しては今年度NEP制作ドラマについても本格運用を始めました。また知財センターからの委託により不法投稿された動画に対しての不正利用対応を始めました。

権利確保サポート業務

NHK知財センター著作権・契約部からの委託により、大河ドラマ「西郷どん」「いだてん」、連続テレビ小説「わろてんか」「半分、青い。」「まんぷく」などのドラマ、NHKスペシャル「人体」「アインシュタイン～“天才脳”を追え」「シリーズ大江戸」や「プロフェッショナル仕事の流儀」などの定時番組を制作部門と連携して、それぞれの要請に応じ、放送及び配信、海外発信などを含む範囲で権利交渉を行い、権利を確保しました。併せて権利情報のデータ作成も行いました。また下期には、同じく著作権・契約部からの委託である「常時同時配信に向けたサポート業務」として制作現場にヒアリングを行い、配信対応における課題や問題点をレポートにまとめました。

独自事業としては、放送番組国際交流センター（JAMCO）よりNHKおよび民放番組の海外番組提供のための権利処理業務を受託し、（一財）NHKインターナショナルより、連続テレビ小説「ひよっこ」の海外無償提供のための権利処理業務を受託しました。

商品管理業務

ブルーレイディスク、DVDのプレス製造数は「アシガール」他のヒットもあり、昨年度から10%増の約195万枚でした。その内、連続テレビ小説「わろてんか」「半分、青い。」では製造原価の圧縮を図り、利益率の向上に貢献しました。

コンテンツ展開と情報共有し、商品在庫、原材料等の在庫を見直すと共に、適切な発注管理、廃棄・整理を法令遵守のもと行い、商品倉庫のスリム化を実現し、年間倉庫保管料の削減に結びました。また、正確な在庫管理に努め、年度末商品実地棚卸において、極めて精度の高い結果を導き出すことができました

⑪<新規事業への取り組み>

30年度の開発案件の取り組みとして、「ショート動画に自分の姿を合成するアプリ」をはじめ、ワープステーション江戸の一般入場者数を増加させるための施策として、専用の360度VRアプリを開発、このアプリによってタブレット端末を使った施設案内が可能となりました。また、音の波面合成という技術を使った新たな空間演出にも取り組み、箱根の美術館で実施したプレスリリースでは、立つ位置によって聴こえる音が変わるという技術が好評を博しました。さらに、「昔の写真を立体的に合成したVRシステム」の開発を行い、アメリカで行われたSXSWにおける出展では欧米各国の複数の企業から商談がありました。

⑫<リスクマネジメント、コンプライアンス、情報セキュリティへの取組み>

リスクマネジメント強化及びコンプライアンス推進のため「リスクマネジメント委員会」を計3回開催し、30年度の活動方針や「内部統制の整備状況と運用状況の評価」についての承認等を行いました。また、各部門で作成している「業務プロセス図」から抽出したリスクについて、対応策とその評価を実施しました。

「コンプライアンス推進強化月間」には、ハラスメント防止のリーフレットを新たに作成し全社員に配布するとともに、独自のeラーニングを全社員を対象に行いました。また各部門において様々なテーマでの研修会等を開催しました。

情報セキュリティへの取組みとしては、4月に情報セキュリティマネジメントシステム（ISMS）の定期維持審査を受け、認証の維持が認められました。また、「NHK関連団体向け情報セキュリティ対策基準」を策定し、その要素をISMS

活動に活かすとともに、年間を通じて、様々な情報セキュリティリスクを低減する活動を推進しました。

〔内部監査部門〕は、28年度からの3年間で全部門を一巡することを目指し、3年目の30年度は、対象となる25部門のうち8部門の監査を行いました。監査結果はその都度社長に報告したうえで監査役に手交するとともに、常勤役員会にも報告し、取締役会で上期総括報告と年間総括報告を行いました。

⑬<法務、顧客対応、システムへの取り組み>

〔法務・審査部門〕では、年間約5,000件の稟議（契約書）の審査を行うとともに、稟議申請処理の適正化を目指して、重要事案の稟議遅延に関する事由書の提出や締結済み契約書の格納確認を実施しました。また、各種研修において契約書の重要性、下請法違反の防止や偽装請負とならないための理解にむけた周知・徹底を図るなど、引き続きコンプライアンスの徹底に努めるとともに、各種契約書ひな型の整備・更新や契約内容の事前相談など契約締結に関して各現場の業務サポートを行いました。

〔お客様相談室〕への、顧客など外部からの問い合わせへの対応件数は、年間合計で3,684件（前年比107%）でした。全社に関わる問合せに対して、親切・丁寧をモットーに、正確かつ迅速な対応によりNEPの顧客満足度の向上に努めました。

〔システム部門〕では、オフィス環境の改善（フリーアドレス化等）に合わせて、居室ネットワーク環境の無線LAN（wifi）化を進めてきました。この結果、業務用パソコンは、本社（第三共同ビル）各階で無線を利用できる環境を整備しました。また、業務用パソコンのOSは、Windows7のサポート終了に伴い、Windows10への更新作業を900台終了し、残りの300台は来年度に実施する予定です。

業務システムの改善・改修では、システムで持っている元号表記を西暦表記にする改修や、事業提案システムの放送波に4K・8Kを追加するシステムの改修をしました。この他に、各部からシステム改善・設定作業等の申請は、144件の対応を行いました。

「eラーニング（関連団体ITリスク調査）」は、対象者984名（社員および協

力会社社員など) に対し 982 名 (99.8%) が受講し情報セキュリティへの意識付けの徹底に努めました。

⑭ <分野別売上高>

(単位 千円)

区 分	第 2 9 期 (29.4.1~30.3.31)		第 3 0 期 (30.4.1~31.3.31)		対前年度増減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
放 送 番 組 制 作	36,322,823	65.7%	38,591,414	65.2%	2,268,591	6.2%
映 像 ソ フ ト 販 売	3,573,980	6.5%	3,473,901	5.9%	△100,079	△2.8%
イ ベ ン ト ・ ソ フ ト 制 作	5,305,240	9.6%	5,969,288	10.1%	664,048	12.5%
番 組 提 供 ・ デ ジ タ ル 制 作	3,962,907	7.2%	3,793,188	6.4%	△169,719	△4.3%
キ ャ ラ ク タ ー 事 業	1,044,249	1.9%	1,073,899	1.8%	29,650	2.8%
権 利 ビ ジ ネ ス	3,845,637	7.0%	5,115,492	8.6%	1,269,855	33.0%
N O D 事 業	690,366	1.2%	656,788	1.1%	△33,578	△4.9%
受 託 映 像 国 際 放 送	540,444	1.0%	517,643	0.9%	△22,801	△4.2%
合 計	55,285,650	100.0%	59,191,613	100.0%	3,905,963	7.1%

※構成比・増減率は小数点第二位以下を四捨五入して表示

(参考) 平成30年度 コンクール等受賞一覧

【国内コンクール】

コンクール名	部門/賞	番組および商品名など
国 内		
第59回 科学技術映像祭	自然・暮らし部門/ 文部科学大臣賞	NHKスペシャル ディープオーシャン 超深海 地球最深への挑戦
第17回 放送人グランプリ 2018	第4回 大山勝美賞	NEP ドラマ番組 EP 加藤 拓
第17回 放送人グランプリ 2018	グランプリ	NHK スペシャル 4 作品 「戦慄の記録・イン パール」「本土空襲 全記録」「731 部隊の 真実～エリート医学者と人体実験」「樺太地 上戦 終戦後7日間の悲劇」
第17回 放送人グランプリ 2018	優秀賞	特集ドラマ「眩(くらら)～北斎の娘～」 美術スタッフ
第55回 ギャラクシー賞	テレビ部門/選奨	NHK スペシャル「戦慄の記録 インパール」
第55回 ギャラクシー賞	テレビ部門/奨励賞	BS プレミアム「裕次郎は死なない～心に刻 まれた5つの物語～」
第55回 ギャラクシー賞	テレビ部門/奨励賞	プレミアムドラマ「弟の夫」
第44回 放送文化基金賞	テレビドキュメン タリー番組部門 /最優秀賞	BS1 スペシャル「父を捜して～日系オランダ 人 終わらない戦争～」
第44回 放送文化基金賞	テレビドキュメン タリー番組部門 /奨励賞	BS1 スペシャル 銀嶺の空白地帯に挑む ～カラコルム・シスパーレ～
第44回 放送文化基金賞	テレビドラマ番組 部門/優秀賞	特集ドラマ「眩(くらら)～北斎の娘～」
第44回 放送文化基金賞	テレビエンターテ インメント番組部 門/奨励賞	小野田さんと、雪男を探した男～鈴木紀夫の 冒険と死～
第34回 ATP賞テレビ グランプリ	総務大臣賞	特集ドラマ「眩(くらら)～北斎の娘～」
第34回 ATP賞テレビ グランプリ	ドキュメンタリー 部門/最優秀賞	「BS1 スペシャル 父を捜して 日系オラン ダ人 終わらない戦争(前後編)」
第34回 ATP賞テレビ グランプリ	情報・バラエティ部 門/優秀賞	4人のモナリザ 「謎の微笑」モデルの真実

第34回 ATP賞テレビ グランプリ	情報・バラエティ部 門/優秀賞	「チョコちゃんに叱られる！」
第34回 ATP賞テレビ グランプリ	情報・バラエティ部 門/奨励賞	小野田さんと、雪男を探した男 ～鈴木紀夫の冒険と死～
第34回 ATP賞テレビ グランプリ	奨励新人賞	NEPドラマ番組 P 鹿島 悠 「土曜時代ドラマ アシガール」
第26回 橋田賞	橋田賞	NHKスペシャル「戦慄の記録 インパール」
平成30年度優秀映像教 材選奨	高等学校部門/優秀 作品賞	「アクティブに学ぼう Vol.1 ～身近な食生活～」 「アクティブに学ぼう Vol.2 ～暮らしと消費～」 「情報化社会のリテラシー ～サイバーセキュリティ～」
平成30年度優秀映像教 材選奨	小学校部門/優秀 作品賞	「小学校道徳科指導資料 DVD3年」
第4回 ジャパン・ツー リズム・アワード	海外領域メディア 部門/入賞	2度目の旅シリーズ ～ちょっとディープな海外旅行～
東京ドラマアワード 2018	作品賞・単発ドラマ 部門/グランプリ	特集ドラマ「眩(くらら)～北斎の娘～」
第7回 日本医学ジャー ナリスト協会賞	映像部門/大賞	BS1スペシャル 「在宅死“死に際の医療” 200日の記録」
先進映像協会 ルミエール・ ジャパン・アワード 2018	UHD 部門(8K)/グラ ンプリ	「DOMO! WORLD ～どーもくんの謎解き～」
第73回 文化庁芸術祭	テレビ・ドラマ部門 /大賞	ドラマ10「透明なゆりかご」 2018年7月20日～10月26日放送(各44分 /最終回48分)
第22回 文化庁メディア 芸術祭	エンターテインメ ント部門/大賞	「チョコちゃんに叱られる！」制作チーム
デジタル・コンテンツ・ オブ・ザ・イヤー'18 第24回 AMDアワード	大賞/総務大臣賞	「チョコちゃんに叱られる！」制作チーム
第69回 芸術選奨	放送部門/芸術選奨 文部科学大臣賞	NEP情報文化番組 EP伊藤 純 「新日本風土記」の成果に対して

【国外コンクール】

コンクール名	部門/賞	番組および商品名など
国 際		
第 19 回 ワールド・メディア・フェスティバル	ドキュメンタリー部門：アートカテゴリー/インターメディア・グローバル金賞 (カテゴリー1位)	BS プレミアム NHK ワールド 「北斎インパクト」(Hokusai's Impact)
第 50 回 アメリカ国際フィルム・ビデオ祭	ドキュメンタリー部門：歴史カテゴリー/ワールド・カメラ賞 (カテゴリー1位)	BS1 スペシャル「父を捜して ～日系オランダ人 終わらない戦争～」
第 50 回 アメリカ国際フィルム・ビデオ祭	エンタテインメント部門：アクション・アドベンチャーカテゴリー/シルバー・スクリーン賞 (カテゴリー2位)	大河ファンタジー 精霊の守り人Ⅱ 悲しき破壊神 第1回『災いの子』
第 50 回 アメリカ国際フィルム・ビデオ祭	エンタテインメント部門：ドラマカテゴリー/クリエイティブ・エクセレンス賞 (カテゴリー3位)	特集ドラマ「眩(くらら)～北斎の娘～」
マルタ観光局プレスアワード 2017	映像部門/部門賞	世界ふれあい街歩き 「騎士団がつくった街 バレッタ ～マルタ～」
第 70 回 イタリア賞	ウェブ・ノンフィクション部門/イタリア賞 イタリア共和国大統領特別賞	ハートネット TV+生きるためのテレビ 『#8月31日の夜に。』
第 70 回 イタリア賞	テレビパフォーマンス アーツ部門/奨励賞	ETV 特集「人知れず表現し続ける者たちⅡ」
2018 オタワ国際アニメーション映画祭	ANIMATION FOR YOUNG AUDIENCES COMPETITION: PRESCHOOL 【Winner】 未就学児童向けアニメーション部門/最優秀賞	「Koniguri-Kun Music Box by Mari Miyazawa」 プチプチ・アニメ こにぎりくん 「オルゴール」
2018 年 A B U 賞	テレビ：ドラマ部門	特集ドラマ「眩(くらら)～北斎の娘～」 2017年9月18日放送 (73分)
第 23 回 アジア・テレビ賞	単発ドラマ・テレビ映画 番組部門/最優秀賞	特集ドラマ「眩(くらら)～北斎の娘～」 2017年9月18日放送 (73分)

(3) 対処すべき課題

2019年度は、新たに策定した中期経営計画の2年目となります。この中期経営計画では「SHIBUYAから“世界”へ」をキャッチコピーに、3つのビジョンと8つの具体的な重点目標を設けることで2020年までの3年間に当社が目指す方向を示しました。今年度はこの計画をさらに加速させ、NHKグループの中で当社が求められる役割を着実に果たしていきたいと考えます。特に計画の一つの目玉である「制作と展開の一体化」については、昨年6月より展開プロデューサーを配置し、番組と連動した新キャラクターの展開や制作番組の映画化、舞台化など、コンテンツの多彩な展開に向けて動き出しています。そして、昨年12月に開始された4K・8K放送に対応して、引き続き各分野で高品質な番組やコンテンツを開発、制作し、世界市場へのアピールを図っていく考えです。また、通信における5G時代に向けて、新たな事業の開発にも着手していきます。

ワークステーション江戸における大正・昭和セットの運用も経営的には重要な課題です。NHKの要請を受けての大きな投資でしたが、外部利用の拡大や一般入場者数の増加、その他有効活用を含めた着実な運用により資金の回収を進めていきます。

イベント事業では、渋谷で3年目の開催となる「東京JAZZ」、さらには「全日本なわとびかっぴ王選手権」、「ロボコン」、「忍たまミュージカル」などを通じて幅広い世代の期待に応え、NHKの接触率の拡大に貢献していきます。来年に迫った東京オリンピック事業等への取り組みにも注力していきたいと考えます。その他の事業でも、権利ビジネスの強化などを通じ、国内のみならず海外にもNHKブランドの向上拡大を目指し、コンテンツ創造企業としての当社の本領を一層発揮していきたいと考えています。

一方、2018年12月に基本合意に至ったNHKプラネットとの統合においては、2020年4月の統合実現に向け、人事給与、組織、事業計画など各分科会を設置して課題を洗い出し、スムーズに統合を完了するべく作業を進めていきます。そして、受信料の値下げや放送法の改正、大手配信事業者の台頭など、事業環境の様々な変化に柔軟に対応できるように、「選択と集中」を進め、強靱な体制を作り上げていきます。

3年目となる「働き方改革」への取り組みもさらに推進し、社員のモチベーショ

ン・生産性の向上を図りながら、健康的で楽しく働ける組織を作ることが課題です。また、コンプライアンスの徹底、リスクマネジメントの強化や環境経営の実践などに引き続き努めるほか、これからの当社を背負って立つ人材の育成に向けて新たな施策を実践していきます。

当社は、2019年度も映像を核にしたコンテンツを創り続ける企業として、新規事業の開拓も積極的に進め、一層の原価抑制に努め利益率の向上を図ります。またNHKグループの一員として、公共メディアにおける番組の充実・発展に尽くし、NHKブランドの向上を目指してまいります。

(4) 設備投資等の状況

当期の設備投資総額は19億31百万円で、内容は以下のとおりです。

(単位 百万円)

資産の種類	取得価額	備考
有形固定資産 建物・構築物・車両	1,340 309	ワープステーション江戸設備拡張 事務所改装 ほか
有形固定資産 工具器具備品	88 63 54 19 20	ワープステーション江戸備品 パソコン、HDD等周辺機器 事務所改装什器類 撮影用カメラ、8K再生機等 その他
無形固定資産 ソフトウェア	10 10 17	アプリ開発 業務システム改修 その他
計	1,931	

(5) 資金調達の状況

前記の設備投資の資金は、自己資金で充当しています。

(6) 事業譲渡・吸収分割または新設分割の状況

該当事項はございません。

(7) 事業譲受の状況

該当事項はございません。

(8) 吸収合併・分割による他の法人等の事業に関する権利義務の承継の状況
該当事項はございません。

(9) 他の会社の株式その他の持分または新株予約権等の取得の状況
該当事項はございません。

(10) 財産および損益の状況の推移 (単位 千円)

区 分	第 27 期 (28 年 3 月期)	第 28 期 (29 年 3 月期)	第 29 期 (30 年 3 月期)	第 30 期 (31 年 3 月期)
売 上 高	54,431,758	55,126,704	55,285,650	59,191,613
営 業 利 益	566,914	1,430,932	663,820	2,082,625
経 常 利 益	778,461	1,875,122	1,186,932	2,342,779
当 期 純 利 益	460,673	1,304,900	826,654	1,604,812
1 株 当 り 当 期 純 利 益	78,159 円 68 銭	221,394 円 71 銭	140,253 円 53 銭	272,279 円 09 銭
総 資 産	26,519,585	26,708,229	24,949,179	28,243,496
純 資 産	16,550,598	15,681,036	14,709,095	15,865,822

(11) 主要な事業内容

- ①放送番組の企画、制作、購入
- ②有線テレビジョン放送事業者への放送番組の頒布
- ③映像国際放送の実施に関連する業務
- ④放送番組に係るコンテンツ等の著作物の発行、頒布
- ⑤放送に関連した催し物や公共的な各種催し物の企画、実施

(12) 主要な事業所等

本 社 東京都渋谷区神山町 4 番 1 4 号 第三共同ビル
東京都渋谷区神山町 5 番 2 0 号 神山町小川ビル
ワープステーション江戸
茨城県つくばみらい市南太田 1 1 7 6

(13) 従業員の状況

	従業員	NHK出向者等	計	増減	平均年齢
男	271名	104名	375名	- 2名	51才 4か月
女	123名	16名	139名	+ 3名	45才 7か月
計	394名	120名	514名	+ 1名	49才10か月

注1：役員、デジタルSKIPステーション、海外現地法人、NHKへの出向者は含まない

注2：契約社員は含む

(14) 重要な親会社および子会社の状況

①親会社との関係

当社の親会社は、NHKであり、当社の株式4,843株を保有しており、これは当社の議決権比率の82.17%に当たります。

当社は、NHKからの委託による放送番組などの制作と購入、有線テレビジョン放送事業者への放送番組の頒布、映像国際放送の実施、NHKの放送番組に係るコンテンツ等の著作物の発行と頒布、NHKの放送に関連した催し物や公共的な催し物の企画と実施、これらに関連する業務およびNHKが制作した番組の利用権の購入などを行っております。

②重要な子会社の状況

該当事項はございません。

③親会社等との間の取引に関する事項

当社では、親会社NHKとの取引をするにあたり、独立した第三者との間の取引と同等の条件であることを確認し、取締役会において当該取引について相当との判断を行いました。

(15) 主要な借入先と借入額

借入先	借入金残高
株式会社 みずほ銀行	50,000 千円

2. 会社の株式に関する事項

①発行可能株式総数 10,000 株

②発行済株式の総数 5,894 株

③期末株主数 10 名

④株 主

株 主 名	持 株 数	持株比率
日本放送協会	4,843 株	82.17%
株式会社NHKメディアテクノロジー	178 株	3.02%
株式会社NHK出版	171 株	2.90%
株式会社NHKグローバルメディアサービス	168 株	2.85%
株式会社NHKアート	146 株	2.48%
株式会社NHKエデュケーショナル	142 株	2.41%
株式会社NHKプロモーション	123 株	2.09%
株式会社みずほ銀行	59 株	1.00%
株式会社NHKアイテック	32 株	0.54%
株式会社NHK文化センター	32 株	0.54%

(注) 株式会社NHKメディアテクノロジーと株式会社NHKアイテックは、

平成31年4月1日付で合併し、株式会社NHKテクノロジーズに商号変更しております。

3. 会社役員に関する事項

(1) 役員の地位、氏名、担当、兼職の状況

地 位	氏 名	担 当	他の法人の代表または重要な兼職の状況
代表取締役社長	板野 裕爾	全体統括	
専務取締役	佐藤 幹夫	グローバル事業本部長	
常務取締役	柳田 昌賢	経営企画室長	
常務取締役	安齋 尚志	制作本部長 〔制作企画〕〔番組開発〕 〔自然科学番組〕	
取締役	大路 幹生	海外戦略室 建築管理（建設業経営管理業務責任者）	
取締役	諏訪 雄一	グローバル事業本部副本部長 〔展開・戦略〕	
取締役	押田 敦	グローバル事業本部事業開発センター長 〔アニメ・ライセンス事業〕	
取締役	尾崎 充信	制作本部副本部長 〔ドラマ番組〕 〔エンターテインメント番組〕	
取締役	加藤 久仁	ライツアーカイブスセンター長	
取締役 (非常勤)	掛川 治男		㈱NHKエデュケーショナル社長
取締役 (非常勤)	森永 公紀		㈱NHK出版社長
取締役 (非常勤)	山本 英俊		NHK関連事業局専任部長
取締役 (非常勤)	小野木昌史		NHK編成局長
取締役 (非常勤)	佐藤 高彰		NHK制作局長
監査役	木村 弘巳	社外常勤監査役	
監査役	吉田 哲彦	常勤監査役	
監査役	河野 優加	社外監査役	㈱みずほ銀行 営業第十八部次長
監査役	嶺野 晴彦	非常勤監査役	NHK内部監査室 監査部 専任部長

注1：平成30年6月26日付で、尾崎充信、加藤久仁、山本英俊の各氏が取締役に、河野優加、嶺野晴彦の各氏が監査役に就任しました。また同日付で、高田和昭、下川雅也、近藤保博、喜安政幸の各氏が取締役を、古椀裕章、松尾光洋の各氏が監査役を退任しました。

注2：平成30年10月31日付で、中澤庄平氏が取締役に退任しました。

注3：平成31年4月24日をもって板野裕爾氏が代表取締役社長を退任し、4月25日付で安齋尚志氏が代表取締役社長に就任しました。

注4：社外監査役木村弘巳氏は、公認会計士の資格を有しており、財務および会計に関する相当程度の知見を有しています。監査役吉田哲彦氏は、リスクマネジメントに関する知見を有し、放送事業に高い見識を持っています。社外監査役河野優加氏が兼職している㈱みずほ銀行は、当社の取引銀行です。

(2) 取締役・監査役の報酬総額

区分	支給人数	報酬等の額
取締役 (うち社外取締役)	13人 (一)	122,115千円 (一)
監査役 (うち社外監査役)	2人 (1人)	23,762千円 (12,000千円)
計	15人	145,878千円

注1：上記には、当年度に退任した取締役4名が含まれております。

注2：当事業年度末の人員数は、取締役14名、監査役4名ですが、うち取締役5名、監査役2名は無報酬であり、上記人員には含まれておりません。

注3：報酬等の額には使用人兼務取締役の使用人分給与(63,230千円)は含まれておりません。

(3) 社外役員に関する事項

社外監査役

社外監査役のうち、木村弘巳監査役は当年度に開催された取締役会[5回開催]に5回出席、監査役会[6回開催]に6回出席し、当社の業務執行における適正性確保の観点から提言をしています。

古椀裕章監査役は30年4月から6月中の在任期間中に開催された監査役会[2回開催]に1回出席し、当社の業務執行における適正性確保の観点から提言をしています。

河野優加監査役は当年度に開催された取締役会[5回開催(就任後は4回開催)]に4回出席、監査役会[6回開催(就任後は4回)]に4回出席し、当社の業務執行における適正性確保の観点から提言をしています。

4. 会計監査人の状況

(1) 会計監査人の名称

E Y 新日本有限責任監査法人

(2) 会計監査人の報酬等

公認会計士法第2条第1項の業務に関する報酬 17,000千円

注1：当社の監査役会は、前事業年度における監査計画と実績の比較を行い、監査時間および報酬額の推移を確認し、当事業年度の監査予定時間および報酬額の妥当性を検討した結果、会計監査人の報酬について、会社法第399条第1項および第2項の規定による同意を行っています。

(3) 会計監査人の非監査業務の内容

該当事項はございません。

(4) 会計監査人の解任または不再任の決定の方針

会社法第340条第1項各号に掲げられている事由およびこれに準ずる事由等を会計監査人の解任または不再任の決定根拠としております。

(5) 会計監査人の責任限定契約の内容

該当事項はございません。

備考：報告中の記載金額は、表示単位未満を切り捨てて表示してあります。

5. 業務の適正を確保するための体制（平成27年9月17日取締役会決議）

（1）当社の取締役および使用人の職務の執行が法令および定款に適合することを確保するための体制

①当社は取締役、社員を含めた行動規範として、「NHKエンタープライズ倫理・行動憲章と行動指針」を定め、これらの遵守を図っている。

また、コンプライアンスを確保するため、「リスクマネジメント委員会運営に関する規程」を定め、社長を委員長とする「リスクマネジメント委員会」を設置し、全社的に法令遵守が確保される体制をとっている。

今後さらに取締役、社員のコンプライアンスの徹底を図るため、すでに設置されている「コンプライアンス相談・通報規程」「相談・通報窓口」などを社内に効果的に周知し、適宜、法令等の遵守状況をモニタリングする。

②取締役会については、「NHKエンタープライズ取締役会規則」が定められ、その適切な運営が確保されており、定例で開催するほか、必要に応じて随時開催し、取締役間の意思疎通を図るとともに相互に職務執行を監督し、法令・定款違反行為を未然に防止している。万一、取締役が他の取締役の法令・定款違反行為を発見した場合は直ちに監査役および取締役会に報告するなどして、その徹底を図っていく。

③同様に、社長、常勤役員ほかで構成する常勤役員会については「役員規程」、執行役員については「執行役員規程」を遵守し、職務執行の法令・定款への適合を確保していく。また、監査役は、取締役の職務執行、経営機能に対する監督強化を図っていく。

④コンプライアンス関連の研修、社内報等による啓発、社員総会などによる意識づけに努め、全社的な法令遵守の一層の推進を図るとともに、「稟議規程」「経理規程」により、取締役、社員の職務執行の透明性を向上させる。

（2）当社の取締役の職務の執行に係る情報の保存および管理に関する体制

①「株主総会議事録」「取締役会議事録」「常勤役員会議事録」については、適切かつ確実に保存・保管され、「常勤役員会議事録」については、取締役および監査役が常に閲覧可能な状態に置かれている。

②「文書管理規程」に定められた文書の扱いを遵守することにより、取締役の職務の執行に係る情報の保存および管理に適正を期す。

(3) 当社の損失の危険の管理に関する規程その他の体制

①当社は、当社の事業に係るリスクとして、投資的リスク、下請法等法令違反につながるリスク、企業機密への不正アクセス・漏洩等情報セキュリティ的リスクなどを認識し、信用調査、対応マニュアルの整備等を進めている。また、公共放送グループの一員として、公金の扱いについては特に厳正を期し、万が一にも社会的な指弾を受けることのないよう注意を払っている。さらにNHKグループ全体にかかわるリスクについては、「NHKグループ通報制度規程」にもとづいて、NHK総合リスク管理室に、速やかに報告・連絡することになっている。

②新たなリスクが発生した場合には、必要に応じ、速やかに対応責任者となる取締役を定める。

(4) 当社の取締役の職務の執行が効率的に行われることを確保するための体制

①職務権限および職制を定め、取締役の職務権限と責任および指揮命令系統を明確にしている。

②重要な意思決定については、常勤取締役等による役員会などにより多面的に検討し、慎重に決定する仕組みを設けている。

③ITを活用した稟議システムを構築し、迅速な意思決定を図っている。

④中期経営計画およびそれを受けた年度事業計画を策定し、事業ごとの目標値を設定し、業績を把握し、適宜見直しを行っている。

⑤さらに効率的に職務を執行するために、内部統制との関係を考慮しつつ、案件に応じた職務権限の委譲を検討していく。

(5) 当社ならびにその親会社および子会社から成る企業集団における業務の適正を確保するための体制

①当社の親会社にあたるNHKの子会社等の事業が適切に行われることを目的として、「関連団体運営基準」により、事業運営およびこれに対するNHKの指導・監督等に関する基本的事項が定められており、当社も該当している。

②NHKは、「関連団体運営基準」に関する事項およびNHKが指定する事項について、監査法人等に委嘱して関連団体の業務運営状況調査を実施し、監査法人等の報告に基き、関連団体に対し必要な指導・監督を行っており、当社も該当している。

③NHKの監査委員は、NHK役員の職務の執行を監査するため必要があるとき、当社の事業の報告を求めたり、当社の業務および財産状況を調査できることになっており、その場合には、当社は、適切な対応を行う。

④NHKは、全国民の基盤に立つ公共放送の機関として、不偏不党の立場を守って、放送による言論と表現の自由を確保し、豊かで、良い放送を行うことを目的とした法人である。

また、放送法により、NHKに対する公共的規制は、国民の代表である国会を中心として行われ、毎年度の予算・事業計画は国会での承認を要している。

NHKには、経営方針その他その業務の運営に関する重要事項を決定する権限と責任を有する経営委員会が設置され、会長等による業務の執行と監督の機能とが明確に分離され、適正なガバナンスが確保されており、業務の実施にあたっては、「NHK倫理・行動憲章」「行動指針」の策定、「通報窓口」の整備などにより、適正が確保されていると理解している。

⑤当社の子会社等については、定期的に業務報告を受けており、当社担当取締役によって、日常的にチェックが行われている。

また、子会社等のコンプライアンスについては、子会社等の社長を責任者とする体制を整備し、法令遵守にあたることになっている。

(6) 当社の監査役がその職務を補助すべき使用人を置くことを求めた場合における当該使用人に関する事項、当該使用人の取締役からの独立性に関する事項および当該使用人に対する指示の実効性の確保に関する事項

①監査役からの求めがあった場合には、監査役の職務を補助すべき使用人として、当社社員から監査役補助者を任命する。監査役補助者の任命、解任、人事異動、賃金等については、監査役会の同意を得た上で、取締役会が決定する。なお、平成21年3月、監査役から求めがあったので、監査役補助者を任命している。

②監査役補助者は、当社業務を兼務することができるが、監査役より監査業務に必要な命令を受けた場合は、その命令に関して、取締役の指揮命令を受けないものとする。

(7) 当社の取締役および使用人が当社の監査役に報告をするための体制、報告をした者が当該報告をしたことを理由として不利な取扱いを受けないことを確保するための体制

- ①取締役または使用人は、法定の事項に加え、当社および当社グループに重大な影響を及ぼす事項の内容を、監査役にそのつど報告するものとする。
- ②監査役は、いつでも必要に応じて、取締役および使用人に対して報告を求めることができる。
- ③当社は、監査役に報告をした者に対して、その報告を行ったことを理由として不利益な取扱いを行うことを禁止する。

(8) 当社の監査役の職務の執行について生ずる費用の前払い等に係る方針に関する事項、その他監査役の監査が実効的に行われることを確保するための体制

- ①監査役からその職務の執行について生ずる費用の前払い、負担した債務の弁済等の請求があったときは、当該請求に係る費用または債務が、監査役の職務の執行に必要な場合を除き、当該費用または債務を処理する。

【業務の適正を確保するための体制の運用状況の概要】

当社の取締役会は、取締役14名（うち、非常勤取締役5名）で構成されていて、社外監査役2名を含む4名の監査役も出席し、業務執行取締役から業務執行状況の報告が行われるとともに重要事項の審議・決議を行っています。

また、常勤監査役は、取締役会のほか常勤役員会等の社内の重要会議に出席するとともに、取締役から業務執行の状況について直接聴取を行い、業務執行の状況や内部統制、コンプライアンスに関する問題点を監視する体制を整備していて、経営監視機能の強化および向上を図っております。

コンプライアンスに関する取り組みの状況では、社長を委員長とする「リスクマネジメント委員会」を開催し、コンプライアンスやリスクマネジメントに関する報告や決定が行われています。また、全役員、社員等を対象とした研修活動も定期的にも実施してコンプライアンスの徹底を図っております。当社の内部監査部門では、年度ごとの内部監査計画に基づきモニタリングを実施しています。

【業務の適正を確保するための体制の評価】

全社的な内部統制について、「統制環境」「リスクの評価と対応」「統制活動」「情報と伝達」「モニタリング」「ITへの対応」という6つの観点から、整備状況および運用状況の有効性を評価しました。また、業務上重要なリスクを抽出した上で、必要な対応（内部統制）が実施されていることを評価しました。

評価の結果、平成31年3月31日時点における当社の内部統制は、概ね有効であると判断しました。

第30期 計算書類

〔 自 平成30年4月 1日
至 平成31年3月31日 〕

株式会社 NHKエンタープライズ

貸借対照表

(平成31年3月31日現在)

(単位 千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
流動資産	21,832,391	流動負債	9,929,963
現金及び預金	5,252,610	買掛金	7,310,944
受取手形	17,856	短期借入金	50,000
売掛金	11,977,251	未払金	487,706
商品及び製品	148,965	未払法人税等	735,623
原盤等利用権	1,749,578	未払事業所税	19,902
原材料	121,693	未払消費税等	118,617
制作勘定	1,668,735	未払費用	121,116
仕掛品	97,184	前受金	53,751
前払金	673,354	預り金	114,355
前払費用	84,967	預り保証金	6,402
未収入金	13,913	賞与引当金	905,000
その他	30,980	契約保証損失引当金	2,382
貸倒引当金	△ 4,700	その他	4,162
固定資産	6,411,105	固定負債	2,447,710
有形固定資産	2,364,556	退職給付引当金	2,115,921
建築物	1,029,798	資産除去債務	304,069
構築物	976,554	その他	27,720
機械装置	2,410	負債合計	12,377,674
車両運搬具	35,296	(純資産の部)	
工具器具備品	315,509	株主資本	15,870,701
土地	4,987	資本金	1,250,000
無形固定資産	114,946	利益剰余金	14,620,701
ソフトウェア	98,110	利益準備金	312,500
その他	16,835	その他利益剰余金	14,308,201
投資その他の資産	3,931,602	事業維持積立金	10,000,000
投資有価証券	666,469	権利取得資金積立金	500,000
関係会社株式	571,997	ロケ施設整備積立金	500,000
施設借用保証金	781,511	国際展開推進積立金	500,000
繰延税金資産	1,136,704	次世代システム構築積立金	500,000
保険積立金	481,914	次世代放送・通信等推進積立金	500,000
その他	329,609	繰越利益剰余金	1,808,201
貸倒引当金	△ 36,605	評価・換算差額等	△ 4,879
		その他有価証券評価差額金	△ 4,623
		繰延ヘッジ損益	△ 256
		純資産合計	15,865,822
資産合計	28,243,496	負債・純資産合計	28,243,496

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示している。

損 益 計 算 書

〔 自 平成30年 4 月 1 日
至 平成31年 3 月 31 日 〕

(単位 千円)

科 目	金 額	
売 上 高		59,191,613
売 上 原 価		52,280,063
売 上 総 利 益		6,911,550
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費		4,828,924
営 業 利 益		2,082,625
営 業 外 収 益		
受 取 利 息	402	
有 価 証 券 利 息	2,323	
受 取 配 当 金	272,520	
雑 収 入	26,058	301,304
営 業 外 費 用		
支 払 利 息	309	
固 定 資 産 除 却 損	2,479	
為 替 差 損	38,361	41,149
経 常 利 益		2,342,779
税 引 前 当 期 純 利 益		2,342,779
法 人 税、住 民 税 及 び 事 業 税	860,047	
法 人 税 等 調 整 額	△ 122,080	737,967
当 期 純 利 益		1,604,812

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示している。

株主資本等変動計算書

〔 自 平成30年 4月 1日
至 平成31年 3月 31日 〕

(単位 千円)

	株 主 資 本							
	資 本 金	利 益 剰 余 金						
		利益準備金	その他利益剰余金					
			事業維持 積立金	権利取得資 金積立金	次世代放送 推進積立金	ロケ施設整 備積立金	国際展開推 進積立金	次世代シス テム構築積 立金
平成30年 4月 1日 残高	1,250,000	312,500	10,000,000	500,000	500,000	500,000	500,000	200,000
当事業年度中の変動額								
次世代放送推進積立金の取崩					△500,000			
次世代システム構築積立金の積立								300,000
次世代放送・通信等推進積立金の積立								
剰余金の配当								
当期純利益								
株主資本以外の項目の 当事業年度中の変動 (純額)								
当事業年度中の変動額 合計	-	-	-	-	△500,000	-	-	300,000
平成31年 3月 31日 残高	1,250,000	312,500	10,000,000	500,000	-	500,000	500,000	500,000

	株 主 資 本				評 価 ・ 換 算 差 額 等			純 資 産 計 合 計	
	利 益 剰 余 金				株主資本 合 計	その他有価 証券評価差 額金	繰延ヘッジ 損 益		評価・換算 差額等合計
	その他利益剰余金			利益剰余金 合 計					
	次世代放 送・通信等 推進積立金	繰越利益 剰余金							
平成30年 4月 1日 残高	-	953,101	13,465,601	14,715,601	△4,643	△1,861	△6,505	14,709,095	
当事業年度中の変動額									
次世代放送推進積立金の取崩		500,000	-	-				-	
次世代システム構築積立金の積立		△300,000	-	-				-	
次世代放送・通信等推進積立金の積立	500,000	△500,000	-	-				-	
剰余金の配当		△449,712	△449,712	△449,712				△449,712	
当期純利益		1,604,812	1,604,812	1,604,812				1,604,812	
株主資本以外の項目の 当事業年度中の変動 (純額)					20	1,604	1,625	1,625	
当事業年度中の変動額 合計	500,000	855,100	1,155,100	1,155,100	20	1,604	1,625	1,156,726	
平成31年 3月 31日 残高	500,000	1,808,201	14,620,701	15,870,701	△4,623	△256	△4,879	15,865,822	

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示している。

個 別 注 記 表

記載金額は千円未満を切り捨てて表示している。

1. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

(1) 有価証券の評価基準および評価方法

① 満期保有目的の債券…………… 償却原価法（定額法）

② その他有価証券

時価のあるもの…………… 期末日の市場価格等に基づく時価法（評価差額は、全部純資産直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定）

時価のないもの…………… 移動平均法による原価法

③ 子会社株式および関連会社株式

…………… 移動平均法による原価法

(2) デリバティブの評価基準および評価方法

デ リ バ テ ィ ブ …… 時価法

(3) たな卸資産の評価基準および評価方法

商品及び製品、原材料 …… 総平均法による原価法（貸借対照表価額は、収益性の低下に基づく簿価切下げの方法により算定）

制作勘定、仕掛品 …… 個別法による原価法（貸借対照表価額は、収益性の低下に基づく簿価切下げの方法により算定）

原盤等利用権 …… 見積回収期間にわたり、会社所定の償却率により償却している。（貸借対照表価額は、収益性の低下に基づく簿価切下げの方法により算定）

(4) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産…………… 定率法

(リース資産を除く) ただし、平成10年4月1日以降に取得した建物(建物附属設備を除く)並びに平成28年4月1日以降取得した建物附属設備及び構築物については定額法による。

無形固定資産…………… 定額法

(リース資産を除く) なお、自社利用のソフトウェアについては、社内における利用可能期間(5年)に基づいている。

リース資産…………… 定額法

リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法による。

(5) 引当金の計上基準

貸倒引当金…………… 債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については、貸倒実績率による計算額を、貸倒懸念債権等特定の債権については、個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上している。

賞与引当金…………… 従業員に対する賞与の支給に充てるため、当事業年度に対応する支給見込額を計上している。

契約保証損失引当金…………… 仕入契約に係る将来の損失に備えるため、当事業年度末現在契約期間中の仕入契約のうち精算損の発生が見込まれ、かつ、その金額を合理的に見積もることができる契約について、損失見込額を計上している。

退職給付引当金…………… 従業員の退職給付に備えるため、退職給付に係る会計基準に規定されている簡便法に基づき、当事業年度末における自己都合要支給額および退職給付債務より年金資産を控除した金額を計上している。

(6) ヘッジ会計の方法

- ① ヘッジ会計の方法 …………… 繰延ヘッジ処理による。なお、振当処理の要件を満たしている為替予約取引については振当処理を採用している。
- ② ヘッジ手段とヘッジ対象
 - ・ヘッジ手段 …………… 為替予約取引
 - ・ヘッジ対象 …………… 相場変動等による損失の可能性がある輸入取引
- ③ ヘッジ方針 …………… 当社の行うデリバティブ取引は、原則実需の範囲内で支払円貨額を確定することを目的としている。
- ④ ヘッジの有効性評価の方法 …… ヘッジ手段の内容とヘッジ対象の重要な内容が同一であることから、ヘッジ対象の相場変動または、キャッシュ・フロー変動をヘッジ手段が完全に相殺するものと考えられるため、有効性の判定を省略している。

(7) 消費税等の処理の方法

消費税および地方消費税の会計処理は、税抜方式によっており、控除対象外消費税等は当事業年度の期間費用としている。

2. 表示方法の変更

(『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用に伴う表示方法の変更)

『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号平成30年2月16日)等を当事業年度の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示する方法に変更した。

(貸借対照表の変更)

前事業年度において区分掲記していた「為替予約」(当事業年度 387 千円)は重要性が乏しくなったため、流動負債の「その他」に含めて表示している。

3. 追加情報

当社と株式会社NHKプラネットは平成30年12月21日に、令和2年4月1日を合併期日とする「経営統合に関する基本合意書」に調印した。

4. 貸借対照表関係の注記

(1) 有形固定資産の減価償却累計額 …… 1,339,313 千円

(2) 関係会社に対する金銭債権および債務

① 短期金銭債権 …… 9,883,634 千円

② 短期金銭債務 …… 1,726,901 千円

5. 損益計算書関係の注記

関係会社との取引高

① 営業取引による取引高

・ 売 上 高 …… 48,139,480 千円

・ 仕 入 高 …… 5,448,189 千円

・ 販売費及び一般管理費 …… 24,127 千円

② 営業取引以外の取引による取引高

・ 営 業 外 収 益 …… 21,112 千円

6. 株主資本等変動計算書に関する注記

(1) 発行済株式の総数に関する事項

株式の種類	当事業年度期首 株 式 数	当事業年度 増加株式数	当事業年度 減少株式数	当事業年度末 株 式 数
普通株式	5,894 株	—	—	5,894 株

(2) 自己株式の数に関する事項

株式の種類	当事業年度期首 株 式 数	当事業年度 増加株式数	当事業年度 減少株式数	当事業年度末 株 式 数
普通株式	—	—	—	—

(3) 当事業年度中に行った剰余金の配当に関する事項

平成30年6月26日開催第29回定時株主総会決議による配当に関する事項

・ 配当金の総額	449,712 千円
・ 配当の原資	利益剰余金
・ 1株当たり配当金額	76,300 円
・ 基準日	平成30年3月31日
・ 効力発生日	平成30年6月27日

(4) 当事業年度の末日後に行う剰余金の配当に関する事項

令和元年6月27日開催第30回定時株主総会に、次のとおり付議する予定である。

・ 配当金の総額	984,298 千円
・ 配当の原資	利益剰余金
・ 1株当たり配当金額	167,000 円
・ 基準日	平成31年3月31日
・ 効力発生日	令和元年6月28日

7. 税効果会計に関する注記

繰延税金資産および繰延税金負債の主な発生原因別の内訳

繰延税金資産

賞与引当金	277,111 千円
退職給付引当金	629,528 千円
たな卸資産評価損	141,687 千円
貸倒引当金	12,647 千円
出資評価損	68,228 千円
その他投資評価損	54,035 千円
販売放映権評価損	9,620 千円
資産除去債務	126,332 千円
繰延ヘッジ損益	113 千円
その他有価証券評価差額金	2,040 千円

その他	116,923 千円
繰延税金資産小計	1,438,268 千円
評価性引当額	△141,946 千円
繰延税金資産合計	1,296,322 千円
繰延税金負債	
前払年金費用	△83,286 千円
資産除去債務に対応する有形固定資産	△76,331 千円
繰延税金負債合計	△159,617 千円
繰延税金資産の純額	1,136,704 千円

8. 金融商品に関する注記

(1) 金融商品の状況に関する事項

①金融商品に対する取組方針

当社は、原則として安全性の高い運用を基本とする資金運用規程に基づき、短期運用の預金と満期保有の公社債等を運用している。また、輸入取引の相場変動リスクを回避するためにデリバティブを利用しており、投機的な取引は行わない方針である。

②金融商品の内容およびそのリスク並びにリスク管理体制

営業債権である受取手形および売掛金は、顧客の信用リスクにさらされている。当該リスクに関しては、当社の経理規程に従い、取引先ごとの期日管理および残高管理を行う体制としている。

有価証券および投資有価証券は、主に満期保有目的の債券、非上場株式である。

営業債務である買掛金は、そのほとんどが1年以内の支払期日である。また、営業債務である買掛金は、流動性リスクにさらされているが、当社では月次で資金計画を作成するなどの方法により管理している。

輸入取引におけるデリバティブの執行・管理については、実需に基づいた取引に限って行っている。

③金融商品の時価等に関する事項についての補足説明

「(2) 金融商品の時価等に関する事項」におけるデリバティブ取引に関する契約額等については、その金額自体がデリバティブ取引に係る市場リスクを示すものではない。

(2) 金融商品の時価等に関する事項

平成31年3月31日における貸借対照表計上額、時価およびこれらの差額については次のとおりである。なお、時価を把握することが極めて困難と認められるものは、次表には含めていない。

(単位 千円)

	貸借対照表 計上額 (※3)	時価 (※3)	差額
現金および預金	5,252,610	5,252,610	—
受取手形および売掛金 (※1)	11,990,407	11,990,407	—
投資有価証券	291,761	294,456	2,694
資産計	17,534,779	17,537,474	2,694
買掛金	(7,310,944)	(7,310,944)	—
負債計	(7,310,944)	(7,310,944)	—
デリバティブ取引 (※2)	(370)	(370)	—

(※1) 受取手形および売掛金に対応する貸倒引当金を控除している。

(※2) デリバティブ取引によって生じた正味の債権・債務は純額で表示しており、合計で正味の債務となる項目については、() で示している。

(※3) 負債に計上されているものについては、() で示している。

(注1) 金融商品の時価の算定方法並びに有価証券およびデリバティブ取引に関する事項

資 産

①現金および預金、並びに受取手形および売掛金

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっている。

②有価証券および投資有価証券

これらの時価については、債券は取引所の価格または取引金融機関か

ら提示された価格によっている。

負債

買掛金

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっている。

デリバティブ（ヘッジ会計が適用されているもの）

ヘッジ会計の方法ごとの決算日における契約額又は契約において定められた元本相当額等は、次のとおりである。

ヘッジ会計の方法	デリバティブ取引の種類	主なヘッジ対象	契約額等		時価
				1年超	
原則的処理	為替予約取引 米ドル買建	買掛金	207千\$	92千\$	11千円 (※1)
原則的処理	為替予約取引 ユーロ買建	買掛金	184千€	—	358千円 (※1)
為替予約の 振当処理	為替予約取引 米ドル買建	買掛金	102千\$	—	(※2)

(※1) 時価の算定方法

取引先金融機関等から提示された価格等に基づいて算定している。

(※2) 為替予約の振当処理によるものは、ヘッジ対象とされている買掛金と一体として処理されているため、その時価は、当該買掛金の時価に含めて記載している。

(注2) 時価を把握することが極めて困難と認められる金融商品

(単位 千円)

区分	貸借対照表計上額
非上場株式	374,708
関係会社株式	571,997

これらについては、市場価格がなく、時価を把握することが極めて困難と認められることから、「有価証券および投資有価証券」には含めていない。

9. 関連当事者との取引に関する注記

(1) 親会社および法人主要株主等

(単位 千円)

属性	会社等の名称	議決権等の所有 (被所有) 割合	関連当事者 との関係	取引の内容	取引金額 (注3)	科目	期末残高 (注3)
親会社	日本放送協会	被所有 直接 82.1%	放送番組の 制作等	放送番組の 制作受託 (注1)	47,908,938	売掛金	9,872,254
				放送番組の 二次使用料 等(注2)	1,673,447	買掛金 ・未払金	879,600

取引条件および取引条件の決定方針等

(注1) 放送番組の制作受託料については、市場価格および総原価を勘案して当社希望価格を提示し、価格交渉の上で価格を決定している。

(注2) 放送番組の二次使用料等については、日本放送協会の料率設定に基づいている。

(注3) 取引金額には消費税等は含まず、期末残高には消費税等を含めている。

(2) 子会社および関連会社等

(単位 千円)

属性	会社等の名称	議決権等の所有 (被所有) 割合	関連当事者 との関係	取引の内容	取引金額	科目	期末残高
関連会社	NHK Cosmomedia America, Inc.	所有 直接 19.9%	放送番組の 制作等	放送番組の 制作等 (注1)	2,431,691	買掛金 ・未払金	760,447

取引条件および取引条件の決定方針等

(注1) 放送番組の制作料については、NHK Cosmomedia America, Inc. より提示された料金を基に市場価格および総原価を勘案して、価格を決定している。

(3) 兄弟会社等

(単位 千円)

属性	会社等の名称	議決権等の所有 (被所有) 割合	関連当事者 との関係	取引の内容	取引金額 (注5)	科目	期末残高 (注5)
親会社の 子会社	株式会社 NHKアート	所有 直接 8.2% 被所有 直接 2.4%	放送番組の 美術制作等	放送番組の 美術制作委 託等 (注1)	2,066,823	買掛金 ・未払金	265,373
親会社の 子会社	株式会社 NHKメディ アテクノロジー (注5)	所有 直接 6.7% 被所有 直接 3.0%	放送番組の 制作技術業 務等	放送番組の 制作技術業 務委託等 (注2)	2,982,044	買掛金 ・未払金	578,861

親会社の子会社	株式会社 NHKエデュ ケーションナル	所有 直接 10.5% 被所有 直接 2.4%	商品の購入 等	商品の購入 等（注3）	817,217	買掛金 ・未払金	163,500
親会社の子会社	株式会社 NHKビジネ スクリエイト	所有 直接 6.4%	建物の賃借 等	建物の賃借 等（注4）	624,659	前払費用	43,883
						施設借用 保証金	715,167

取引条件および取引条件の決定方針等

- （注1）放送番組の美術制作料については、株式会社NHKアートより提示された料金を基に市場価格および総原価を勘案して、価格を決定している。
- （注2）放送番組の制作技術料については、株式会社NHKメディアテクノロジーより提示された料金を基に市場価格および総原価を勘案して、価格を決定している。
- （注3）商品の購入については、株式会社NHKエデュケーションナルより提示された料金を基に市場価格および総原価を勘案して、商品ごとに価格を決定している。
- （注4）建物の賃借料については、株式会社NHKビジネスクリエイトより提示された料金を基に市中の不動産賃借価格を勘案の上、交渉により価格を決定している。
- （注5）株式会社NHKメディアテクノロジーは株式会社NHKアイテックと平成31年4月1日付で合併し、株式会社NHKテクノロジーズとなっている。
- （注6）取引金額には消費税等は含まず、期末残高には消費税等を含めている。

10. 1株当たり情報に関する注記

（1）1株当たり純資産額	2,691,859円	87銭
（2）1株当たり当期純利益	272,279円	09銭

11. 重要な後発事象に関する注記

該当なし

独立監査人の監査報告書

令和元年5月21日

株式会社NHKエンタープライズ

取締役会 御中

EY新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員 公認会計士 薄 井 誠 ⑩
業務執行社員

指定有限責任社員 公認会計士 伊 澤 賢 司 ⑩
業務執行社員

当監査法人は、会社法第436条第2項第1号の規定に基づき、株式会社NHKエンタープライズの平成30年4月1日から平成31年3月31日までの第30期事業年度の計算書類、すなわち、貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書及び個別注記表並びにその附属明細書について監査を行った。

計算書類等に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して計算書類及びその附属明細書を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない計算書類及びその附属明細書を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した監査に基づいて、独立の立場から計算書類及びその附属明細書に対する意見を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、当監査法人に計算書類及びその附属明細書に重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得るために、監査計画を策定し、これに基づき監査を実施することを求めている。

監査においては、計算書類及びその附属明細書の金額及び開示について監査証拠を入手するための手続が実施される。監査手続は、当監査法人の判断により、不正又は誤謬による計算書類及びその附属明細書の重要な虚偽表示のリスクの評価に基づいて選択及び適用される。監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、当監査法人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、計算書類及びその附属明細書の作成と適正な表示に関連する内部統制を検討する。また、監査には、経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた見積りの評価も含め全体としての計算書類及びその附属明細書の表示を検討することが含まれる。

当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

監査意見

当監査法人は、上記の計算書類及びその附属明細書が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、当該計算書類及びその附属明細書に係る期間の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

監 査 報 告 書

当監査役会は、平成30年4月1日から平成31年3月31日までの第30期事業年度の取締役の職務の執行に関して、各監査役が作成した監査報告書に基づき、審議の上、本監査報告書を作成し、以下のとおり報告いたします。

1. 監査役及び監査役会の監査の方法及びその内容

- (1) 監査役会は、監査の方針、職務の分担等を定め、各監査役から監査の実施状況及び結果について報告を受けるほか、取締役等及び会計監査人からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求めました。
- (2) 各監査役は、監査役会が定めた監査役会規則及び監査役監査規程等の基準に準拠し、監査の方針、職務の分担等に従い、取締役、内部監査・リスク管理部門その他の使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、以下の方法で監査を実施しました。
 - ① 取締役会その他重要な会議に出席し、取締役及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、本社及び主要な事業所において業務及び財産の状況を調査いたしました。
 - ② 事業報告に記載されている取締役の職務の執行が法令及び定款に適合することを確保するための体制その他株式会社の業務の適正を確保するために必要なものとして会社法施行規則第100条第1項及び第3項に定める体制の整備に関する取締役会決議の内容及び当該決議に基づき整備されている体制（内部統制システム）について、取締役及び使用人等からその構築及び運用の状況について定期的に報告を受け、必要に応じて説明を求め、意見を表明いたしました。
 - ③ 事業報告に記載されている会社法施行規則第118条第5号イの留意した事項及び同号ロの判断及び理由については、取締役会その他における審議の状況等を踏まえ、その内容について検討を加えました。
 - ④ 会計監査人が独立の立場を保持し、かつ、適正な監査を実施しているかを監視及び検証するとともに、会計監査人からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求めました。また、会計監査人から「職務の遂行が適正に行われることを確保するための体制」（会社計算規則第131条各号に掲げる事項）を「監査に関する品質管理基準」（平成17年10月28日企業会計審議会）等に従って整備している旨の通知を受け、必要に応じて説明を求めました。

以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告及びその附属明細書、計算書類(貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書及び個別注記表)及びその附属明細書について検討いたしました。

2. 監査の結果

(1) 事業報告等の監査結果

- ① 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、会社の状況を正しく示しているものと認めます。
- ② 取締役の職務の執行に関する不正の行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事実は認められません。
- ③ 内部統制システムに関する取締役会決議の内容は相当であると認めます。また、当該内部統制システムに関する事業報告の記載及び取締役の職務の執行についても、指摘すべき事項は認められません。
- ④ 事業報告に記載されている親会社等との取引について、当該取引をするにあたり当社の利益を害さないように留意した事項及び当該取引が当社の利益を害さないかどうかについての取締役会の判断及びその理由について、指摘すべき事項は認められません。

(2) 計算書類及びその附属明細書の監査結果

会計監査人 EY 新日本有限責任監査法人の監査の方法及び結果は相当であると認めます。

令和元年5月24日

株式会社 NHKエンタープライズ 監査役会

常勤社外監査役 木村弘巳

常勤監査役 吉田哲彦

社外監査役 河野優加

監査役 嶺野晴彦